



2026 年度  
第 6 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？

「残り7か月なのに」…  
大会準備の  
実態が  
「議論の的」



KARA の賞罰および  
紛争審議委員会の  
決定が  
残した問題は？



韓国サッカー協会  
'口数が多く問題の多い'  
審判問題を公開で議論…  
審判発展公聴会を開催



スポーツ倫理センター  
'出産問題'の  
高スポンサー事件の  
調査に着手



セジョン市議会  
「エリートが去る…」  
体育才能学校  
誘致協力



\*

## 01 済民日報 2026.2.9

## 「残り7か月なのに」…大会準備の実態が「議論的」



済州で開催される全国体育大会と全国障害者体育大会が7ヶ月後に迫っているが、頻繁な担当者の交代や施設工事の遅延などにより、正常な大会開催が不透明だという批判が提起された。

9日に開催された第446回済州道議会臨時会文化観光体育委員会第1回会議で、共に民主党の姜チョルナム議員は体育関連部門の頻繁な人事異動を指摘した。姜議員は「済州のスポーツのコントロールタワーがあまりにも頻繁に変わる」とし、「6ヶ月ごとに団長、課長、チーム長も何度も変わったら、成功裏に大会を開催できるのか」と問いただした。続けて「業務を把握していると時間が過ぎてしまう」とし、「組織の安定性のために頑張ると言っていたのに、また変わった。かなり懸念される」と付け加えた。

施設インフラの確保問題も議論的となった。姜議員は西帰浦市の総合体育館建設に関して「完成は元々10月に予定されている」とし、「10月なら障害者体育大会は9月、全国体育大会は10月だが、使用可能だろうか」と批判した。

さらに「500億ウォンもの投資が行われている体育館なのに、体育大会に一度も使用できないのは問題だ」と指摘した。

共に民主党の金デジン議員は「チーム長級以上がすべて変わり、中央省庁との協力も再び始めなければならない」とし、「工期も時間もあまり残っていないのに、何を信じて私たちに心配しないように言うのか理解できない」と声を高めた。

国民の力の元ファジャ議員は行政の責任性の問題を取り上げた。元議員は「核心部門の人事が繰り返されると業務が初期化され、推進履歴が断絶されるしかない」とし、「後で事後監査で問題が生じた場合、責任は誰が負うのか」と反問した。

続けて「今回の体育大会の組織を一回限りで終わらせるのではなく、成果とノウハウを蓄積する常設組織に発展させるべきだ」とし、「行政の連続性が崩れれば、済州行政の無能や混乱を全国に中継するイベントになるのではないかと懸念される」と付け加えた。

これに対してホン・ホジン全国体育大会企画団長は「人事異動について懸念する部分には十分に共感する」とし、「今回、1団1課4チーム20名に組織が拡大され、最善の準備を尽くして成功する大会にする」と答えた。

施設の問題については「できるだけ工期を前倒しするために人員の補強や施設面に多く配慮している」と語った。

出典:<https://www.jemin.com/news/articleView.html?idxno=833391>

## 02 オートレーシング 2026. 2. 5

### KARA の賞罰および紛争審議委員会の決定が残した問題は？



スポーツの懲戒手続きにおいて、公正性は結果ではなく構造によって証明される。

懲戒が正当であったかどうかは判断後に議論される可能性があるが、その判断がどのような手続きの上で下されたかはそれよりも先の問題である。これは審議結果が正しかったかどうかに関係なく、その決定を当事者と現場が受け入

れることができる最低条件だからである。

懲戒・紛争審議機関において、利益相反は「実際に偏りがあったかどうか」ではなく、偏りに見える可能性だけでも回避理由が成立するというのが一般的な見解である。これは委員の判断能力や道徳性を疑うための装置ではなく、決定自体が外部から信頼を得るために必要な最小限の手続き的条件であると判断されるからである。

国内の主要な体育団体やプロスポーツリーグの多くは、この原則を明文化している。利害関係が確認されたり合理的な疑念が提起された場合、該当委員は自発的に回避または排除される（特定の事案と利害関係がある委員が公正性確保のために審議・決議から排除されること）ことは、個人の判断能力を問題にする制度ではなく、手続き自体を保護するための装置である。国際スポーツ機関も同じ基準を維持している。IOC と各種目の国際連盟は倫理ガイドラインを通じて「公正性に対する疑念が提起される可能性のある状況自体を事前に排除すべきだ」と明記している。

このような基準に照らすと、利益相反関係にある審議委員が回避なしに懲戒審議と決議に参加し、その参加がなければ結論が成立しにくかったという構造は、手続きの正当性に深刻な疑問を残す。この問題は、懲戒の水準の適切性や判断の正誤とは別の次元の問題である。

法曹界やスポーツ行政の専門家たちも、スポーツ分野の懲戒手続きにおける利益相反の問題を結果中心で判断すべきではないと指摘している。検索を通じて「懲戒手続きは事実上準司法的判断に該当するため、実際に不公正だったかどうかよりも、外部から公正だと認識されることができたかどうかはるかに重要である」とし、「利益相反が事前に遮断されなければ、どんな結論も論争から自由ではない」ということが理解できる。

特に、懲戒が個人の地位、資格、名誉に直接的な影響を与える場合、手続き上の欠陥が結果全体を揺るがす要素として作用する。懲戒が軽微であれ重微あれ、公正性に対する信頼が損なわれる瞬間、その決定は受け入れられなくなる。

結局、「回避や排除のない懲戒が可能か」という質問は単なる規定解釈の問題ではありません。これはスポーツ団体が処分を通じて何を守ろうとしているのか、そしてその過程でどの基準を放棄しないのかという問いである。手続きの公正性が保証されていない懲戒は、秩序を築くよりも対立を残し、規律を強化するよりも不信を蓄積する。

今回の問題が投げかける問題は明確だ。懲戒の結論よりもまず確認すべきは、その結論が作られる過程が果たして制度的に安全であったのかという点である。この質問に対する答えが整理されない限り、類似の論争は繰り返されるしかない。

今回は、このような構造的限界がなぜ繰り返されるのか、そしてそれを改善するための制度的な代案は何かを考察する。

出典：<https://www.autoracing.co.kr/news/articleView.html?idxno=47116>

### 03 スポーツ朝鮮 2026.2.3

#### 韓国サッカー協会、'口数が多く問題の多い' 審判問題を公開で議論… 4日に「審判発展公聴会」を開催



韓国サッカー協会（KFA）は「言うことも多く、問題も多い」審判問題を公に議論する。KFAは4日、忠清南道天安のコリアフットボールパークスタジアム1階大講堂で「KFA オープングラウンド（Open Ground）」を立ち上げる。

これは韓国サッカー全般の課題を議論する政策発表会である。KFAのさまざまな事業や問題に関連する事項をサッカー家族を含む各利害関係者に紹介し、政策決定も共に進めていく「オープンな議論の場」という意味である。オープングラウンドを通じて、サッカー界全体が韓国サッカーの未来を共に考え、創り上げていくというメッセージが込められている。

最初の公式行事は審判の発展に関する公聴会である。審判の能力強化や教育システムの革新をはじめ、審判の配分・評価システムの改善、国際審判育成策など、審判制度全般をテーマに議論する予定だ。現場と制度の間のギャップを縮小し、審判への信頼回復と構造的改善策を模索する計画である。

Kリーグは昨年、審判問題で苦しんだ。しかし、適切に訴える場所もなかった。審判管理が韓国プロサッカー連盟からKFAに移管された後、コミュニケーションの窓口自体が消えたという話も流れた。このような状況で連続して誤審が発生し、ファンの怒りは天を突く思いだった。

2026シーズン、'ワールドカップの年'にKFAは審判問題を公に議論する。実際、今回の公聴会は対外公聴会方式で行われる。パネルディスカッション、指定ディスカッション、自由質問応答を併用し、さまざまな現場の意見を幅広く収集する予定だ。様々なリーグで活躍する審判はもちろん、KFAやプロ連盟の関係者も参加する。

KFAは「今回の審判発展公聴会を皮切りに、『KFA オープン・グラウンド』を通じて各分野の主要政策課題を公開的に議論する場を継続的に設けていく予定だ」と述べた。これにより制度改革の透明性を高め、韓国サッカーの将来ビジョンと健全な運営環境を構築していくと説明した。

出典：<https://www.chosun.com/sports/football/2026/02/03/GJSGENZUMMZGCY3FMUYWIZRZMI/>

### 04 スポーツ東亜 2026.2.6

#### スポーツ倫理センター、'出産問題'の高スンボム事件の調査に着手… '選手保護措置なし'のウルサンクラブも調査対象→'精神的苦痛'のコ・スンボム夫妻が精神科診療

文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターが、蔚山（ウルサン）HDの高スンボム（32歳）の「出産事件」について調査に着手した。



5日、サッカー界によると、スポーツ倫理センターは高スンボムがウルサンの高位関係者とクラブから深刻な人権侵害を受けたという内容の通報を受け、今週から本格的な調査に入った。

これは昨年9月、Aマッチの休暇を利用して江原道の東草で行われた短期トレーニングで起こった出来事だ。当時、帝王切開で第二子を出産することに合わせて、高スンボムは7月に家族の介護のため産休を取得する予定だったが、無視された。

むしろ球団の高位関係者から「義母が娘を持つ罪で（ケアに）出なければならない。

最初の孫を責任を持って育てるのが正しい。金銭的な報酬を与えよ。1日100万ウォンずつ渡せば、親孝行だと言われるだろう」という衝撃的なメッセージを受け取った。また、クラブ内の誰かが「帝王切開は1、2日で治って歩ける」といった暴言を吐いた。結局、減った休暇で往復10時間以上運転し、家族の世話をしながら訓練に参加したが、この時も高スンボムは「高額年俸者だから我慢しろ」といった侮辱的な扱いを受けたと考えている。

スポーツ倫理センターは、自身をファンと称した第三者からの通報を受けたとされ、内部で検討した結果、事案が重大であると判断し、実際に調査に乗り出したと伝えられている。すでに被害者（高スンボム側）の事実確認が行われ、来週対面調査が予定されている。

ウルサンのクラブも調査対象となっている。高スンボムは球団から謝罪どころか、全く保護されていないと考えている。事件を軽視し、傍観した人々に深い失望を感じた。深刻な人権侵害を経験した後も降格危機のチームのために献身したにもかかわらず、正当な権利（移籍）要求に対して消極的な態度を示した姿にさらに苦しんでいる。

ウルサンは1月初めに高スンボムを合意された移籍金で移籍させようとしたが、方針を変えてアラブ首長国連邦（UAE）のアライン冬季トレーニングに連れて行き、現在は「戦力外」と再分類した後、トレード移籍を試みているが、相手側は受け入れがたい提案をし、時間を浪費して高スンボムを困惑させている。そのため、ストレスが極限に達した選手の家族は精神科の治療を受けていると伝えられている。

スポーツ倫理センターは、▲体育界の人権侵害、▲スポーツ不正などの予防と根絶を目的として、2020年に設立された機関である。先制的な予防事業はもちろん、懲戒権限も持っている。職場内の暴言やいじめ、パワハラなどさまざまな社会的問題が絡んでいるため、懲戒の可能性は小さくない。

出典：<https://sports.donga.com/sports/article/all/20260205/133303663/1>

## 05 ニュース 2026年2月5日

### セジョン市議会「エリートが去る…」体育才能学校誘致協力



世宗（セジョン）市議会行政福祉委員会は、国立体育英才学校の誘致に向けた協力策を模索した。

委員会は5日、「国立体育英才学校誘致に関する関係機関懇談会」を開催し、市役所・教育庁との協力体制について議論した。懇談会には、金ヒョンミ委員長、金ヨンヒョン副委員長、金チュンシク・李スンヨル・洪ナヨン委員と市庁体育振興課、教育庁中等教育課の関係者など、10名余りが出席した。

参加者は、セジョン市が17の都道府県の中で唯一体育中高等学校がなく、エリート体育人材が他地域へ流出している現実を共有し、これを解消するための英才学校誘致の必要性に共感した。

特に文化体育観光部の基本研究でセジョン市が主要検討地域に含まれているにもかかわらず、関連法案が国会に留まっており、公募方式への転換の可能性が提起されるなどの変数が発生している点を指摘した。

金ヨンヒョン副委員長は「セジョンのユース選手たちが優れた成績を収めても、上級学校がないために運動を諦めたり転校しなければならない」と述べ、「才能学校の誘致だけでなく、企業の支援を通じたプロチームの誘致などインフラの構築も考えるべきだ」と語った。洪ナヨン委員は「特化種目の議論が進む以上、教育庁は教育課程との連携策を慎重に策定すべきだ」と強調した。

李スンヨル委員は「国会の法案通過の推移を見守る必要があるが、セジョン研究院の推進策研究がスピード感を持って進めば、再び機会を先取りできる」と述べた。金ヒョンミ委員長は「文化体育観光部の研究で肯定的な検討があったにもかかわらず、執行部が予算不足で業務費を返還した点は残念だった」とし、「他の自治体と競争する可能性があるため、市役所と教育庁が緊密に協力して実行計画を策定する必要がある」と訴えた。

セジョン市体育振興課と教育庁は、独自の計画策定やカリキュラム運営、人材選抜比率の確保などに向けて積極的に協力すると表明した。

行政福祉委員会は、昨年12月に金ヒョンミ議員が代表提案し可決された『世宗市体育人材育成基盤構築および国立体育英才学校世宗市設立促進決議案』の趣旨を強調し、執行部に対し責任ある行政を求めた。

出典：[https://www.newsis.com/view/NISX20260205\\_0003504530](https://www.newsis.com/view/NISX20260205_0003504530)

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

**私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。**

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel：02-2279-8999、E-mail：sports-cm@hanmail.net ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>